



【発行所】  
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院  
 岩手県一関市山目字泥田山下48  
 Tel : 0191-25-2221  
 Fax : 0191-25-2157  
<https://iwate.hosp.go.jp/>  
 発行責任者 齋藤 桂一

新年のご挨拶

院長 豎山 真規



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスとの戦いは3年が過ぎました。振り返ってみますと、負の側面があまりにも大きいコロナ禍ですが、その中で培われた院内の協力・連携体制は当院にとって大きな力になりました。職員の感染や濃厚接触が発生したときには、速やかに感染経路を特定し、対策を検討する体制をとることができました。感染や濃厚接触によって出勤を停止している職員はお互いにカバーしてきました。ワクチン接種、発熱外来、行政検査への協力、感染隔離期間後の患者さんの受け入れ、入館チェックなど、全職員の協力によってなされました。そしてこれらは患者さんご家族が、面会制限、検査や入館時のチェックなどにご協力してくださったからこそ可能でした。

院外においても、保健所や市の行政の皆様、一関市内の医療機関の先生方、看護師さん方との情報交換の機会が増えました。それぞれの機関の努力によって一関の医療が守られていることを具体的に知ることができ、改めて感謝いたしております。

5月に現在の感染症法の2類相当から5類へ引き下げが決定し、社会のwith コロナは推進されます。医療機関においても模索しながら制限緩和を図っていくことになると思います。一方、院内のzeroコ

ロナ維持のハードルは高くなり、院内感染リスクの増大が懸念されます。これからも続く新型コロナウイルスとの闘いを皆様と協力しながら乗り越えていきたいと思っております。

本年も重症心身障がい児・者医療、神経難病医療の専門医療とリハビリテーションを中心とした地域医療の一層の充実を図り、患者さん・ご家族に安心していただける安全で質の高い医療の提供に努力してまいります。専門的な知識と技術を持った職員の力を結集して、患者さんが抱える医療的社会的問題に取り組んでまいります。そのために、職員一人一人が誇りをもって仕事ができる職場、お互いが思いやり、信頼しあえる職場でありたいと思っております。

感染対策のために制限されていた人々の交流も回復しつつあります。交流を通して、人を育て学びあう病院でありたいと思っております。看護実習生、リハビリテーション実習生は生き生きと、職員の熱心な指導を受けています。医学生、研修医の地域医療研修も予定されています。看護師特定行為研修は3年目を迎えました。実習に取り組む研修生の真剣なまなざしからは使命感と学ぶ喜びが感じられます。岩手病院公開セミナーでは今年もwebを活用して、医療介護福祉職の皆様に、神経難病についての情報を提供してまいります。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。皆様にとって充実した良い年でありますようお祈り申し上げます。



当院屋上から望む栗駒山

## 癒しの小空間 ～光のファンタジー&クリスマス会～

保育士 鈴木 美智子

12月5日、今年で15回目となる「光のファンタジー」点灯式が行われました。今年も例年に引き続き2通りのバージョンを考え提供させていただきました。

前半のクリスマスバージョンのテーマは、入院患者さんが見学するだけでワクワクする！と感じられるように「ポップ！」としました。12月25日までの3週間、サンタバルーンをたくさん用いた色とりどりの明るい会場に仕上げました。バルーンは実際に触れることができるため、患者さんも笑顔で手を伸ばし触れると、声を出して笑っている方もいました。年が明けて1月6日からはウインターバージョンです。テーマは「煌めき」とし、明るく元気なイメージの会場から、静かで穏やかなイメージに変身させました。新しく仲間入りした白樺の木には、ゴール

ドの電飾が光り輝いており、とても幻想的な空間となっています。そのほかの場所もブルー、ゴールドの電飾で彩られ、ゆったりとリラックスができます。2月中旬まで開催しておりますので、患者さんには何度でも足を運んでほしいと思います。

また、この期間には「光のファンタジー」の空間を活用し、重症心身障がい児者病棟の「クリスマス会」を開催しました。普段のイルミネーション会場とは違ったクリスマス一色の雰囲気を楽しみました。サンタクロスやトナカイと記念撮影をし、プレゼントを受け取って嬉しそうな表情をたくさん見せてくれました。

なかなか外出できない状況ではありますが、病棟から出て気分転換し、院内での生活でも患者さん方に喜んでいただけるように、今後も楽しい企画を用意していきたいと思っています。



## 岩手看護学会学術集会に参加して

### あすなる6病棟 看護師 山田 未希子

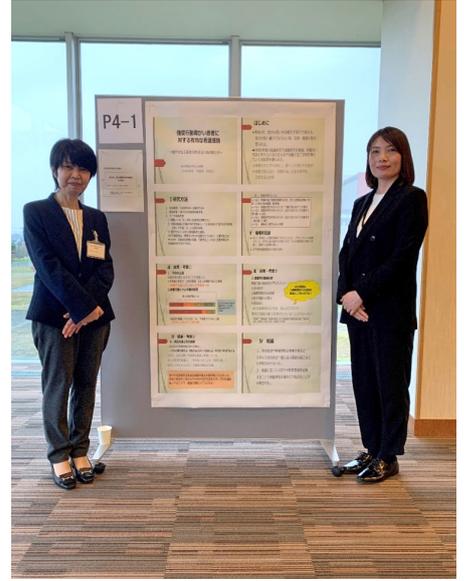
令和4年10月22日に開催された第15回岩手看護学術集会のテーマは『「育てる」から「ともに育つ」看護職』というものでした。私は、毎年看護学生の実習や新人看護師の指導に関わりますが、そのなかで指導内容に不安や疑問があり、スタッフ間で話し合いをしながら指導をしていました。しかし、患者さんを受け持ち、日常業務を行いながらの指導は容易ではなく、自分の指導を振り返る機会が充分ありませんでした。今回学術集会に参加して、看護学生や新人看護師への接し方などとても参考になりました。看護学生は、名前と呼ばれることでチームの一員だと思われ、信頼されていると感じる事、新人看護師にとってコミュニケーションがとりやすく居心地が良い環境づくりに力を入れていることなど、とても興味深いものでした。教育現場でも臨床現場でも看護の質の向上のために、共通の悩みがありますが、教える事は自己成長をする大きな機会になる事がわかりました。その過程が「ともに育つ」ことに繋がると思いました。



今回私は、一昨年取り組んだ看護研究を示説で発表をしました。発表では、参加者からの質問を受けることで、色々な対話ができました。他施設との情報交換や、情報共有ができた貴重な場となりました。

発表した看護研究は、強度行動障がいに対する有効な看護援助について、2年間にわたり取り組んだものです。学術集会での発表は終わりましたが、患者さんが穏やかな入院生活を送るための取り組みは引き続き行っていきたいと思います。

(右側が筆者)



## 防火訓練を実施して

### あすなる5病棟 看護師長 金野 ひとみ

令和4年12月2日、病棟において防火訓練を行いました。

訓練想定は夜間帯、出火場所は病棟出入り口に近い倉庫とし、職員が普段使用しない屋外非常階段を使用することで、訓練を行いました。応援職員が病棟に到着するまで時間を要しましたが、緊急時の避難経路の確認も含めた訓練となりました。患者さんを安全に避難させるため、スタッフは大きな声を出し協力し、不安な患者さんには声がけするなどの取り組みができました。

火災はいつでも起こる可能性があるため、訓練当

日に向け、何度も練習を重ねました。練習するたびに声が大きくなり真剣さが増し、患者さんを安全に早く避難誘導するための動き方の修正を行うなど、職員一人一人が真剣に取り組みました。また、訓練後にはふりかえりを行い、避難誘導の指示をもっと具体的にすればよかったなど、どのように避難をすれば良いかを改めて考える有意義な機会となりました。

大切な多くの命をお預かりしている医療機関として、火災を起こさないよう、患者さんにとって安全な療養環境となるように職員一丸となって尽力してまいりたいと思います。



## 外来診療担当医表 (令和5年1月1日現在)

| 診 療 科   |            | 月  | 火                                      | 水   | 木  | 金   |
|---|------------|--|--|---|--|---|
| 脳神経内科   | 午前<br>(再来) | 豎 山  | 工 藤<br><small>※物忘れ外来、<br/>頭痛など</small> | 千 田   |  | 今 野   |
|   | 午前<br>(新患) | 今 野  | 阿 部                                    | 豎 山   | 千 田<br>ほか  | 豊 嶋   |
|   | 午後         | <small>※HAL外来<br/>今 野<br/>(第1、3、5週)</small>    |  |   |  | <small>※リウマチ科<br/>千 葉(実)<br/>(最終金曜)</small> |
| 呼吸器内科   |            | 芦 野  | 櫻 井                                    | 芦野・森<br><small>(禁煙外来)</small>   | 櫻 井  | 芦 野   |
| 内 科   |            |  |  |   |  | 佐 藤(良)                                      |
| 外 科   |            | 平 野<br><small>予約者のみ</small>                    | 平 野<br><small>予約者のみ</small>            |   | 平 野  |   |
| 小児科   |            |  |  |   |  | <small>※重症心身障害<br/>大 沼</small>              |
| リハビリテーション科  |            | 佐 藤(智)<br><small>※ボトックス外来、<br/>AGA外来など</small> |  |   | 齋 藤<br>宮   |   |
| 歯 科   |            | 佐 藤(敦)   | 佐 藤(敦)                                 | 佐 藤(敦)  | 佐 藤(敦)   |   |
| <small>※予約に関するお問い合わせは、下記の時間帯にご連絡ください。<br/>○月・水・木・金曜日のお問い合わせ受付時間 14:00~16:00<br/>○火曜日のお問い合わせ受付時間 15:00~16:00<br/>※脳神経内科(新患)は、原則、予約制になります。<br/>※専門外来は、すべて予約制です。</small> |            |  |  | <small>※心療内科<br/>伊 藤<br/>※消化器内科(第3週)<br/>仙台医療センターから<br/>※皮膚科<br/>東北大学から</small> | <small>※アレルギー科<br/>(第3週 10:00~14:30)<br/>佐々木<br/>◎1月から第3週に変更</small> | <small>※循環器内科<br/>洪 谷<br/>(第1、3週)</small>   |

### 職場紹介 — 外来・中央材料室 —

「心からの満足すべき全人的医療を目指します」は岩手病院の基本理念です。この理念のもと、スタッフ4名、他部署と協力し、患者さんはじめご家族など、岩手病院に来てくださる皆様を温かく迎えるように努めています。当院は脳神経内科、呼吸器内科、外科、皮膚科、リハビリテーション科、内科、小児科、歯科などの外来を開設しています。更に、アレルギー科、リウマチ科、消化器内科、循環器内科、整形外科、泌尿器科も月1回から2回のペースで診察しています。また、発熱外来や救急患者さんの対応、在宅診療や訪問看護なども行っています。患者さんが辛い時や苦しい



時に助けを求めるのが病院です。私達は、患者さんの体の不調を取り除いたり、不安な気持ちに寄り添いながら、患者さんが住み慣れた地域でより良い生活ができるようにサポートしていきたいと考えています。

看護師長 懸田 恵

### 人事異動

- 【令和4年11月30日付】辞職  
 高橋 朱里 看護師(非常勤)  
 熊谷 直子 業務技術員(非常勤)
- 【令和4年12月31日付】辞職  
 竹越 友則 医療社会事業専門職  
 吉家 千鶴 看護師  
 芳賀 美咲 看護師  
 渡邊 千聖 看護師  
 横沢 亜美 看護師

【編集後記】 みなさん新年あけましておめでとうございます。第8波のさなか、制限なしのお正月ということで、帰省や旅行?に行かれた方もいらっしゃると思います。新型コロナを2類から5類にするという話もあり、決して少なくなった訳ではないのですが、今年もコロナに振り回されそうですね。コロナだけでなく、薬の流通に関しても風邪薬が薬局に入荷しないことはニュースにもなっていますが、それ以外の薬も出荷停止や販売中止が続いていて、調達するのが大変です。今年も体に気をつけて頑張っていきたいと思います。  
 (M.M)